

GIS NEWS LETTER

地理情報システム学会ニューズレター 第55号

発行日 ● 2005年9月10日
発行 ● 地理情報システム学会事務局

第14回 地理情報システム学会学術研究発表大会

学会の最大行事である学術研究発表大会の開催が迫って参りました。初の東京外開催となりました会場については下記を、プログラムについては2頁以降をご参照下さい。研究発表数は昨年より多く、会期は1日短いですが、今回はポスターセッション専用の会場を用意し、講演会場も4箇所あります。大阪工業大学のご好意で、大宮キャンパスの「学園創立60周年記念館」3階4階を独占状態で、移動もスムーズですので、専門分野だけでなく、

様々なセッションをご聴講下さい。

尚、恒例の学会賞表彰及び総会は初日13日の昼休み後にメイン会場で、懇親会も13日に同じ建物の5階で開催されます。多数のご参集をお待ちしております。

また、今回は研究発表大会における学生会員の発表レベルの向上を図る目的で、修士号未取得の学生会員を対象とした、研究発表の優秀者を表彰する企画があります。詳しくは6頁をご参照下さい。

会場案内

—大阪工業大学・大宮キャンパス—

日時：2005年10月13日(木) 9:40～（昼休み後に学会賞表彰及び総会があります）14日(金) 9:10～

会場：大阪工業大学大宮キャンパス・学園創立60周年記念館
(〒535-8585 大阪市旭区中宮5-16-29)

Tel. 06-6955-1551 大学正門より西に330m)

※車でのご来場は固くお断りいたします。

3階セミナー室C、D、4階セミナー室E、F、会議室F、G

参加費：正会員 2,000円 学生会員 1,000円

(賛助会員は正会員に準ずる)

非会員 4,000円/大学学部生 1,000円/高校生以下・70歳以上 無料

(学部生以下、または70歳以上の非会員は、年齢を証明するものをご呈示下さい)

講演論文集：1冊 4,000円 受付にて販売

受付：3階エレベーターホール

他会場で発表・聴講の方も、一旦受付にて手続きをお済ませ下さい。尚、発表会場にご入場の際には、受付でお渡しする名札をご呈示下さい。

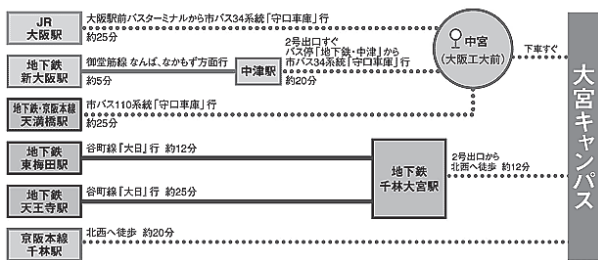
懇親会：10月13日(木)18:00～20:00

大阪工業大学・学園創立60周年記念館内 5F会議室C / 会費4,000円



■主なアクセス方法

大宮キャンパス(知的財産学部、工学部、大学院工学研究科)へ



第14回GISA学術研究発表大会プログラム

GISA大会発表申込書に依る
(発表者は最初に記載 敬称略)

第1日：10月13日(木) 第1会場：3階・セミナー室C

9:40～10:40 Session6-1 都市・地域解析1 (司会:田中 一成)

1. 小区域の空間属性による都市の空間構造解析
張 長平、村山 祐司
2. Spatial Cross-Section at the Edge of Cairo City Using GIS
Ali Essam El-Shazly
3. 札幌市における小売業の時空間構造
経亀 論、橋本 雄一

10:50～12:10 Session6-2 都市・地域解析2 (司会:河端 瑞貴)

4. 都市における商品価格の空間分析ードラッグストアを例としてー
中島 崇晴、貞広 幸雄
5. 小地域空間統計情報を利用した広域的アクセシビリティ指標に関する実証分析ー兵庫県北播磨地区の歯科医院を例とした実証分析
田中 有紀、川向 肇
6. 郊外型フィットネスクラブの高齢者会員の時空間行動分析
牧 尚史、岡部 篤行
7. 過去データを考慮した空間補間法による土地価格推定の一検討
杉浦 淳徳、島川 陽一

12:10～13:00 昼休み (国交省ビデオ上映 12:30～)

13:00～14:00 会長挨拶、学会賞授与式、総会

14:00～15:40 Session6-3 都市・地域解析3 (司会:高橋 昭子)

8. 時空間クリギングの地価推定への適用可能性の検討
井上 亮、木越 尚之、清水 英範
9. 東京23区における集合住宅の用途混合の実態に関する研究
羽鳥 洋子、岸本 達也、三上 哲哉
10. 画地分割パターンのモデル化と推定
井上 猛、大佛 俊泰
11. 自然環境を考慮した低未利用地の活用ー東京都区部を対象とした土地利用適性分析ー
山下 潤、永野 亜紀
12. ニュータウン地区の土地利用動態モデル
田中 慎也、増田 浩通、新井 健

15:50～17:30 Session6-4 都市・地域解析4 (司会:新井 健)

13. 東京圏における人口変化 (明治～現在) の空間分析ー1891年徴発物件一覧表およびDEMデータを用いてー
藤田 和史、村山 祐司、森本 健弘、山下 亜紀郎、渡邊 敬逸
14. 異なった分類システムにおける都市土地利用パターン解析へのスケールの効果
趙 耀龍、村山 祐司
15. 東京都市圏の通勤交通手段・時間別ジョブアクセシビリティ
河端 瑞貴、高橋 昭子
16. 犯罪の時空間集積性に関する検討ー大都市圏における住宅対象侵入窃盗の分析ー
齊藤 知範、島田 貴仁、遠塚 昌瑞、原田 豊
17. ひたたくりの空間分布と都市の諸要因との関連性についての時空間分析
市村 信、岡部 篤行

18:00～20:00 懇親会 (5階・会議室C)

第1日：10月13日(木) 第2会場：3階・セミナー室D

9:40～10:40 Session9-1 自治体1 (司会:福山 薫)

18. 自治体の全庁統合型共用時空間データ整備に関する検討ー由利本荘市を事例としてー
小野寺 淳哉、玉置 昌史、浅野 耕一、小川 淳二、角本 繁
19. 地方行政での利用を目的とした簡易型時空間情報システムの構築
高沢 聡、大沢 裕、根岸 幸生、渡辺 新、鄭 泉、大森 洋平、王 玉娜
20. インターネットGISを用いた計画支援システムに関する研究
小林 竜二、福島 徹

10:50～12:10 Session9-2 自治体2 (司会:角本 繁)

21. 移動図書館を対象とした配置計画支援システム
小林 慎、平原 隆史、南野 謙一、阿部 昭博、渡邊 慶和
22. 地域における公共圏構築とGISーGISによる地域社会マネジメントシステムの構築
有馬 昌宏、川向 肇
23. 地域コミュニティにおけるWeb-GISの活用方策に関する研究
長坂 俊成、前川 佳奈子
24. 市町村の福祉業務から見たGISの利用可能性
青木 和人

12:10～14:00 昼休み

14:00～15:40 Session9-3 自治体3 (司会:長坂 俊成)

25. 三重県におけるGISへの取り組みと今後の展望ー三重県におけるGISの取り組み(1)ー
小林 哲也、竹内 芳文、福山 薫
26. M-GIS利用者アンケートの収集および集計結果分析ー三重県におけるGISの取り組み(2)ー
東原 章文、安藤 健司、福山 薫
27. 震災時における自治体情報システムー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(1)ー
角本 繁、牧野 秀夫、福山 薫、浅野 耕一、吉川 耕司、伊村 昇、山田 博幸、古戸 孝
28. 時空間情報システムを活用した自治体復旧業務支援ー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(2)ー
山田 博幸、古戸 孝、佐々木 直史、角本 繁、北村 清隆、須藤 弘幸、近藤 俊介
29. 被災地における現場情報の収集・整理と復旧業務への利用ー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(3)ー
増田 真吉

15:50～17:30 Session9-4 自治体4 (司会:牧野 秀夫)

30. 被災家屋解体撤去業務を支援するための帳票データベースの作成ー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(4)ー
吉川 耕司、須藤 弘幸、近藤 俊介
31. 農業被害データの登録と復旧業務への利用ー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(5)ー
大河 功、山田 博幸、角本 繁、浅野 耕一、小川 淳二、北村 清隆
32. 自治体における位置情報の管理ー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(6)ー
佐々木 直史、古戸 孝、山田 博幸、角本 繁
33. 被災情報収集・登録の高度化へ向けた検討ー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(7)ー
古戸 孝、佐々木 直史、山田 博幸、角本 繁

34. 三重県地震被害予測システム構築プロジェクトー中越地震における時空間情報システムを活用した自治体支援(8)ー
福山 薫、川口 淳、中島 美由紀、増田 真吉、
田中 貞朗、大辻 勝己、須藤 敬一、角本 繁、
山田 博幸、古戸 孝

第1日：10月13日(木) 第3会場：4階・セミナー室E
9:40～10:40 Session4-1 自然環境 (司会:巖 網林)

35. 気候値メッシュデータを用いた可能蒸発散量の簡便推定法
沼尻 治樹、野上 道男
36. レーダーアメダス解析雨量データを用いた小河内ダム集水域の流出解析
池田 誠、野上 道男
37. 地上定点カメラ画像を用いた積雪分布図の作成
森田 圭、野上 道男

10:50～11:50 Session4-2 自然環境 (司会:野上 道男)

38. 衛星熱画像とGISによる地域の温度特性の景観生態的分析
巖 網林
39. チベット高原地域における自然環境と産業構造の相互関係の分析ー中国青海省を対象としてー
宮崎 浩之、巖 網林
40. 広域北方林森林火災の延焼拡大シミュレーション
木村 圭司、小鍛治 貴介、本間 利久、中右 浩二、
串田 圭司、福田 正己、早坂 洋史

11:50～14:00 昼休み

14:00～15:00 Session4-3 自然環境 (司会:中山 大地)

41. つくばエクスプレス沿線市町村を対象とした土地利用変化の解析
王尾 和寿、桑原 祐史、黒崎 健司、
海老沢 雅之、佐伯 隆、村山 祐司
42. GISを用いた地圏活動の相関解析ー東北日本を事例としてー
西本 壮志、石川 正弘
43. 関東大地震による斜面崩壊
石川 正弘

15:10～16:30 Session1-1 基礎理論 (司会:貞弘 幸雄)

44. 建物ポリゴンと道路リンクの幾何的不整合の解消法
佐々木 麗子、今井 桂子
45. ポリゴンの面積に対する地理情報の位置誤差の影響
寺木 彰浩
46. オブジェクトの空間的精度を第3次元とした3次元GIS
鳥海 重喜、田口 東
47. エッジエフェクトを考慮したネットワーク点パターン分析法の研究
森田 匡俊、奥貫 圭一

16:40～17:40 Session1-2 基礎理論 (司会:寺木 彰浩)

48. 一方通行を考慮したネットワークボロノイ図とそのシステムの開発
佐藤 俊明、岡部 篤行
49. 過去および将来の土地利用変化に関する研究ーホンジュラス・コマヤグア地域を事例としてー
ペレス・ファン・ミゲル、小林 一、松村 一善
50. 観光地における巡回計画立案支援のためのカルトグラム
三浦 佑介、貞広 幸雄

第1日：10月13日(木) 第4会場：4階・セミナー室F
9:40～10:40 Session13-1 その他1(司会:大伴 真吾)

51. 時間に依存するプロパティをもつ一般地物モデル
太田 守重
52. GISをプラットフォームとした水物質循環モデルの構築
佐藤 祐一、原 雄一、湯浅 岳史、
佐々木 亨、上原 浩
53. ArcGISによる流域診断のためのバランスツールボックスの試作
原 雄一、佐藤 祐一、加藤 健一郎、
五味 克彦、大塚 和久

10:50～12:10 Session13-2 その他2 (司会:村尾 吉章)

54. 「地理情報標準」の利用促進に関する研究
小荒井 衛、大塚 孝治、久保 紀重、
太田 守重、大伴 真吾、大地賢一
55. 地理情報標準プロファイル (JPGIS) の検討
田端 謙一、太田 守重、近藤 雅信、
飯田 洋、藤村 英範
56. JPGISに基づく空間データ製品仕様書作成マニュアル及びツールの開発
大伴 真吾、久保 孝嘉、
西村 智明、大塚 孝治、清水 雅行
57. 「地図情報レベル2500データ作成の製品仕様書(案)」の作成
品澤 隆、鈴木 宏昭、鈴木 弘、磯部 浩平、
真屋 学、戸村 高士、近藤 雅信

12:10～14:00 昼休み

14:00～15:00 Session2-1 空間情報 (司会:関本 義秀)

58. 地域分析手法の空間データマイニング・ツールへの導入の試み
生駒 依子、杉原 弘恭、山下 潤
59. 寄り道支援路線図の自動作成システム
相 尚寿、浅見 泰司、貞広 幸雄
60. ネットワーク上空間分析のための面の属性値を線分に配分するツールの開発
岡野 京子、岡部 篤行

15:10～16:10 Session2-2 空間情報 (司会:有川 正俊)

61. Web情報からの地物名自動抽出システムの研究開発
加藤 佑一、物部 寛太郎、田中 成典、古田 均
62. Webリソースを利用した地物間の関連度評価に関する基礎的研究
岡崎 真也、物部 寛太郎、
田中 成典、古田 均
63. GNSS/INSによる高精度測位の評価と土木現場への応用
松下 博俊、上坂 克巳、藤本 幸司、関本 義秀

16:20～17:40 Session3 データベース (司会:太田 守重)

64. STIMSにおける領域復元処理の頑健化
大森 洋平、大沢 裕、根岸 幸生
65. 時空間地理情報管理システムSTIMSにおけるメッシュ描画
石崎 公一、大澤 裕、根岸 幸生、村上 義載
66. 自律分散型GISの構築とキャンパスマップへの適用
藤原 裕司、江崎 哲郎
67. 汎用CADによる時空間データの修正方式
大木 彩加、大沢 裕、根岸 幸生

第2日：10月14日(金) 第1会場：3階・セミナー室C

9:30～10:50 Session6-5 都市・地域解析5 (司会:奥貫 圭一)

68. 公私領域から見たつながり空間
寺本 祐己、田中 一成、吉川 眞
69. 地域性とLCAを考慮したごみ処理の広域化に関する研究
楊 翠芬、志水 章夫、井原 智彦、玄地 裕
70. 耕作放棄と自然・社会環境の相互関係-GISと農業集落
カードを結びつけて- 森本 健弘、村山 祐司、
山下 亜紀郎、藤田 和史、渡邊 敬逸
71. 非構造格子を用いた氾濫解析におけるGISの利用
鈴木 久美子、村上 哲、安原 一哉、小峯 秀雄

11:00～12:00 Session6-6 都市・地域解析6 (司会:楊 翠芬)

72. 街区に着目した建物密集度の広域的な分析方法
熊谷 樹一郎、川勝 雄介
73. 建築物除却関連因子の統計的評価と小地域における地域
内建物平均老朽度の推定 鎌田 詩織、大佛 俊泰
74. ネットワーク上の空間分析のためのソフトウェアSANET
第3版の開発 奥貫 圭一、塩出 志乃、岡部 篤行、
岡野 京子、金子 忠明

12:00～13:30 昼休み(国交省ビデオ上映・2回)

13:30～15:10 Session5-1 歴史環境1 (司会:森本 晋)

75. 歴史的景観の保全と復元 近藤 大地、吉川 眞
76. 大大阪の形成 木村 明人、吉川 眞
77. GISを用いた近世京都の名所案内記の分析 塚本 章宏
78. 河川と人間居住の空間的相互関係 -那珂川流域と荒川流
域における明治期と現代の比較- 山下 亜紀郎、
村山 祐司、森本 健弘、藤田 和史、渡邊 敬逸
79. GISとDEMを用いた歴史統計の空間分析-明治24年徴発
物件一覧に記載される関東地方における水車場の分布-
渡邊 敬逸、村山 祐司、森本 健弘、
山下 亜紀郎、藤田 和史

15:20～16:20 Session5-2 歴史環境2 (司会:森本 健弘)

80. 考古学における文化財の分布調査手法の開発と実践
-奈良市獅子・狛犬調査研究プロジェクト概要報告-
藤本 悠、田中 浩也、丸山 卓磨、
上田 泰司、碓井 照子
81. 応用スキーマによりモデル化された遺構情報の考古学的
分析における自動化 村尾 吉章、碓井 照子、
森本 晋、清水 啓治、野田 卓、藤本 悠
82. 歴史的地域における景観検討のためのwebコミュニケー
ションツールの提案 福島 綾子、下川 雄一、
増田 達男、宮下 智裕、曾根 敦、
坂尾 滋彦、銀木 護、河原 大

第2日：10月14日(金) 第2会場：3階・セミナー室D

9:10～10:50 Session11-1 教育1 (司会:橋本 雄一)

83. 初等中等教育における地図教育に関する現状と課題
秋本 弘章
84. 親子参加型環境地図展の作品に見る紙地図とGISの接点
大西 宏治

85. プログツールを用いた環境教育マップの開発

鶴川 義弘、清水 裕司、伊藤 悟

86. 時系列地形図閲覧ソフトの開発 谷 謙二

87. 携帯電話を利用したモバイルGISの開発-学校教育を意
識して- 伊藤 悟、湯田 ミノリ、奥貫 圭一、
木津 吉永、川崎 智央、立松 岳史

11:00～12:20 Session11-2 教育2 (司会:大場 亨)

88. 教育学部の教科教育法授業における携帯電話GISの利用
実験 林 紀代美、伊藤 悟、木津 吉永、川崎 智央
89. GISを利用した計量地理学の講義と実習 -SDAMを利用
して- 駒木 伸比古、村山 祐司
90. GISを援用した地域学習のための教育パッケージ開発
-学校と博物館の連携による火山地域学習の試み-
橋本 雄一、小杉 康、阿部 哲史、相馬 絵美
91. 3D-Indexシステムによる考古学情報の利用
阿部 哲史、小杉 康、橋本 雄一、相馬 絵美

12:20～13:30 昼休み

13:30～15:30 Session11-3 教育3 (司会:伊藤 悟)

92. GIS技術資格の取得意欲と職場環境との関連 大場 亨
93. オープンソースのMapServer, MapLab, p. mapperによる
WebGIS教育の試み 遠藤 教昭
94. サレジオ工業高等専門学校における情報工学実験への地
理情報システムの導入 島川 陽一、内田 健
95. 子どもたちを不審者から守るための戦略的安全マップ作
成の試み 竹谷 勝也
96. フリーのGISソフトを利用したマップづくり講習会の試み
山崎 利夫、鶴成 悦久、平 瑞樹、
小川 領一、吉松 一成
97. GIS実習へのオンライン学習システム導入の試み
高橋 昭子、岡部 篤行

第2日：10月14日(金) 第3会場：4階・セミナー室E

9:30～10:50 Session10 防災1 (司会:岩井 哲)

98. ネットワークボロノイを用いた都市内避難場所の圏域分析
相馬 絵美、橋本 雄一
99. 施設内滞留者と歩行者の時空間分布推定
星野 雄、大佛 俊泰
100. 首都直下型地震を想定した防災計画のための鉄道利用者
の時空間分布推定 大佛 俊泰、大谷 郁子
101. 建替確率モデルの構築を用いた都市の不燃化に関する考
察 中田 由美、大佛 俊泰

11:00～12:00 Session10-2 防災2 (司会:大佛 俊泰)

102. GISによる丘陵造成地の推定盛土深さと木造瓦屋根地震
被害の関連 岩井 哲、神鳥 和志
103. 福岡県西方沖地震における自治体の対応に関する調査
荒木 俊輔、碓崎 賢一
104. ファクシミリと時空間GISによる災害情報収集システム
の開発 浅野 俊幸、大貫 信治、角本 繁、
浦山 利博、齋藤 真人、佐々木 光明

12:00～13:30 昼休み

13:30～15:10 Session10-3 防災3 (司会:碓崎 賢一)

- 105. iBrand.jpを用いた簡単なハザードマップ等構築手法について
岩場 貴司、安田 明生
- 106. 災害調査データ共有のための時空間アプリケーションスキーマの提案
畑山 満則
- 107. 沿岸域地盤の地下推移変動に及ぼす海面上昇の影響
鈴木 希美、村上 哲、安原 一哉、小峯 秀雄
- 108. 土砂災害情報をリアルタイムに算出するシステムの開発－消防防災活動支援のための土砂災害情報システムの構築(1)－
水田 敏彦、浅野 耕一
- 109. 時空間GISを用いた緊急通報現場特定支援システムの検討と試作－消防活動支援のための土砂災害情報システムの構築(2)－
浅野 耕一、水田 敏彦、北野 寛二、三浦 常男

15:20～16:20 Session10-4 防災4 (司会:畑山 満則)

- 110. HTMLと連携したGISデータベースの構築 中越地方における地すべり危険度評価のデータベース化
内山 庄一郎、井口 隆、宮城 豊彦
- 111. GISを用いた交通動画シミュレーションの構築と集中豪雨時への適用
坂本 淳、藤田 素弘、鈴木 弘司、藤本 圭太郎
- 112. 地震時における人工造成地盤の危険度評価に関するGIS分析
林 一成、宮城 豊彦、濱崎 英作、内山 庄一郎、小倉 薫

第2日：10月14日(金) 第4会場：4階・セミナー室F

9:10～10:30 Session7-1 環境・3DGIS (司会:杉原 健一)

- 113. 「なにわ」の変遷景観 田ノ畑 聡史、吉川 眞
- 114. 視点場類型化による都市景観解析－国分寺崖線の高層マンションを対象に－
服部 裕司、玉川 英則
- 115. ドローネ三角網を用いた京町家の接続性の分析
磯田 弦、矢野 桂司、中谷 友樹
- 116. 街並み景観における色彩環境のシークエンス分析
山村 剛、吉川 眞、田中 一成

10:40～12:00 Session7-2 環境・3DGIS2 (司会:中谷 友樹)

- 117. 紀の川流域における河川景観分析
中山 稔也、吉川 眞、田中 一成
- 118. 多様な断面を持つ3次元河川モデルの自動生成
杉原 健一
- 119. Web3D-GIS技術による3次元都市モデルのインターネット配信
曾根 敦、畑中 達也、銀木 護、益見 貴光、坂尾 滋彦、河原 大、高瀬 裕
- 120. 3D Web-Browser and Database System for a Geographical Study on Domestic Animals in Northern Thailand
Jason Gettys, Teerayut Horanont, Reese Plews, Atsuyuki Okabe, Kayo Okabe, Surachai Ratanasermping and Tanita Suepa

12:00～13:30 昼休み

13:30～14:50 Session12-1 普及・活用1 (司会:谷 謙二)

- 121. GISを活用した地域活性化への産学連携の試み
伊藤 宏、福山 薫
- 122. GPS携帯電話を利用したGIS機能に関する研究フレームワーク
今井 修、岡部 篤行
- 123. 情報通信技術を利用したリスク・コミュニケーション運用手法開発－GIS利用の視点から－
西山 由美、福井 弘道、長坂 俊成、石上 愛、白田 裕一郎、河上 牧子、鈴木 維一郎、田中美乃里
- 124. 市販統計パッケージの空間情報表現の可能性
川向 肇、田中有紀

15:00～16:20 Session12-2 普及・活用2 (司会:今井 修)

- 125. Web-GISにおける携帯電話の活用成果と今後の発展可能性～中山間地域研究センター情報ステーションの実用例から
藤山 浩、小村 あかね
- 126. GISを用いた柱上変圧器負荷データ分析
久世 晋一郎、石田 雅宏、平川 学
- 127. 重ね合わせ手法による新たな地理情報の創出について
原岡 充
- 128. GISの利用定着に向けたプロセスに関する研究－市民参加型プロジェクト「GIS利用定着化事業」を事例として－
三橋 浩志

第2日：10月14日(金) ポスターセッション：4階会議室・F、G

13:00～14:30

- P-1. GISを用いた岡山県西部石灰岩地域の希少植物の分布と環境要因の解析 萬野 日出人、能美 洋介、池田 博
- P-2. 市区町村実施の自然災害に関する被害想定調査の実施状況の地域的傾向 阪田 知彦
- P-3. GISを用いた複数地域での居住に関する研究 高田 佳奈
- P-4. バイオマス賦存量GISデータベース構築と輸送距離・コスト評価システムの開発 井内 正直、高橋 健吾、松村 晴夫
- P-5. 体力レベルに応じたサイクリングマップの作成－GISによる“坂”の知覚の視覚化－ 鈴木 雄清、岩船 昌起
- P-6. 都市近郊農地の不耕作の変遷と形成要因－藤沢市北西部・茅ヶ崎市北部を対象として－ 稲葉 佳之、巖 網林
- P-7. GISによる時空間行動ハンドリングシステムの構築－地理情報標準に準拠したパーソナリティデータベースのUMLモデル－ 武田 祐子、安藤 雅弘、広原 隆
- P-8. WebGISを用いた水環境調査支援情報システムの構築 東 善広
- P-9. 都電停留所配置を考慮した商業施設の空間分布の分析 二村 雄史、島川 陽一
- P-10. 丹沢山地におけるニホンジカの豊富さを制限している要因 鈴木 透、吉田 剛司、笹川 裕史、鎌形 哲稔、山根 正伸、原 慶太郎
- P-11. 自然再生事業を支援する統合自然環境GISの構築、神奈川県丹沢大山総合調査の取り組みから 山根 正伸、笹川 裕史、吉田 剛司、鎌形 哲稔、雨宮 有、鈴木 透、金子 正美、原 慶太郎
- P-12. Web3D-GIS技術による3次元都市モデルのインターネット配信 曾根 敦、畑中 達也、銀木 護、益見 貴光、坂尾 滋彦、河原 大、高瀬 裕

- P-13. Web-GISにおける携帯電話の活用成果と今後の発展可能性～中山間地域研究センター情報ステーションの実用例から 藤山 浩、小村 あかね
- P-14. GISの利用定着に向けたプロセスに関する研究 ―市民参加型プロジェクト「GIS利用定着化事業」を事例として― 三橋 浩志

大会表彰企画について

今大会では研究発表大会における学生会員の発表レベルの向上を図る目的で、学生会員を対象とした「大会優秀発表賞」を設けます。

選考対象者は修士号未修得の学生会員で、研究（論文）内容、発表技術の優秀者からセッション司会者が推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には、賞状と副賞を後日、個人宛に送付します。また次号ニューズレターで所属・氏名を発表する他、学会賞委員長の全体コメントを掲載、受賞者の出たセッション司会者報告では具体的に推薦経緯を報告します。

機 器 展 示

日時：10月13日（木）～10月14日（金）
時間：9：30～17：00（最終日～16：00）
場所：3階・会議室B

展示企業・内容

1. 株式会社キャドセンター 技術部

展示ソフト：UrbanViewer、UrbanViewer for Web
汎用三次元都市ビューアUrbanViewer(TM)と三次元都市地図配信システムUrbanViewer for Webの展示。
UrbanViewerが持つ高速な表示機能と、都市計画、景観検討、防災情報、環境評価などの分野で行われている具体的なソリューション事例を中心に紹介します。

2. 株式会社ベントレー・システムズ

展示ソフト：
MicroStation V8シリーズ（地図データ、3次元地形データ作成プロダクト）
MicroStation PDバリューパック（低価格版の地図データ作成プロダクト）
Bentleyでは3D GIS、WEB技術をベースにした情報共有、大量の地図データをマネジメントする技術を提供しています。MicroStationの最新バージョンを始め、BentleyのGeospatial（地図空間情報）プロダクトをご紹介します。3D PDFの出力、SXFの入出力、SHPの取り扱いなど、標準化に関わる機能と、3次元モデリング、GIS、道路設計、イメージデータの編集を行う各種プロダクトをご覧ください。

3. 三菱電機株式会社

展示ソフト：水道システムにおける災害情報システム、3次元電子地図システム
水道システムにおける災害情報システムでは、災害発生時の水道施設復旧、応急給水に関する情報を管理、復旧計画策定や現場作業を支援するシステムを展示します。3次元電子地図システムでは、3次元デジタル地図をベースに、様々な情報

を大画面で共有することが可能です。展示では、実際の離島の3次元地図上に気象レーダ情報やテレメータ情報を重畳表示するデモを行います。

4. 株式会社インフォマティクス

展示ソフト：空間情報システム SIS
・先進技術を実装し、相互運用性を実現する空間情報システムの最新版ver6.2のご紹介
・Flash Playerを利用したWebGISの新たな可能性のご提案
・情報コンテンツを地図と連動して収めるWebサイトの可能性のご提案

IT 理事会報告

■5月23日付

- ①時空間GIS、地図・空間表現、登記GIS、セキュリティSIGの継続設置が承認された。
- ②法人化検討委員会の追加委員について承認された。
- ③退会希望者が通告にもかかわらず年会費未納の場合、除名とすることが承認された。
- ④除名者が再入会を求めた場合、未納分を完納後に再入会を認めることが承認された。
- ⑤名簿が流出したという会員からの訴えを受け、次期名簿作成の是非を審議したが、「項目を限定した名簿を全会員に配布」「現状維持」「事務局でデータを管理し、個々の会員には配布しない」等意見の一致を見ず、継続審議となった。

■7月4日付

- ①GISカリキュラム検討WGが、従来の技術資格検討委員会(現技術資格委員会)から学校教育委員会に移行することが承認された。
- ②新潟中越地震関係予算について承認された。
- ③10月の研究発表大会での表彰企画について承認された。

■8月2日付

2件のGIS技術教育主催者が認定された。

■8月5日付

事務局の移転について承認された。

技術資格委員会からのお知らせ

技術資格委員会委員長：確井照子

ホームページ掲載遅延のお詫び

2005年4月16日のGIS学会総会でGIS技術教育主催者認定基準の承認を得た後、教育主催者の認定業務を開始いたしました。しかし、ホームページ掲載が6月下旬にずれ込んだため、特に実施日の60日以前までに申請するという原則が曖昧になり、申請者にご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。第1回の申請受付に関しましては、ホームページ開催以前の5月から問い合わせを受けていたものもあり、実施日(8月下旬)が必ずしも申請日の60日以前でなかったものも受付けました。(今回限りの異例措置)

7月に2件の申請

ホームページ掲載後、2件の申請を7月8日と19日に受け付けました。前述した理由で8月下旬に開催の申請もあり、迅速に処理をした結果、7月末のIT理事会にかけました。

GIS技術資格に関するQ&A

- (1) GIS技術教育主催者認定に記載されているGIS技術資格認定の申請手順は、どのようになるのでしょうか？

GIS技術資格は、5年間のポイントで認定されますのでとりあえず、ポイントを貯めてください。申請手順は、まだ、審議中ですが概要は以下ようになります。

教育ポイント：GIS技術教育主催者が教育実施日に参加証を発行します。また、GIS学会では、これらの認定主催者から提出された参加者名簿をデータベース化し、参加者から申請があった場合にGIS技術教育参加履歴証明書（ホームページ参照）を発行いたします。

実務ポイント：各企業、大学、団体、自治体から証明書をもらい、申請時に添付します。この場合、GIS関連の業務であることが明示されていることが重要です。GIS部署名やGIS職種、GISプロジェクト名と時間数(何年何ヶ月)などの明示が必要になります。GIS業務を証明できる社内体制を作ってください。

社会貢献ポイント：GIS学会大会等への参加は、学会員番号で管理されます。その他の委員会などは、証明する書類を保存しておく必要があります。詳しくは、委員会で検討中です。

- (2) 2010年まではGIS技術資格は取得できないのでしょうか？
米国でも、永年、GISに携わった人を特別認定した事例もあります。GIS学会でも検討しようと考えています。GIS技術資格は、GIS学会認定のビジネスコーディネーターや測量協会認定資格や測量CPD、各種団体のGIS関連の試験や認定資格を認めながらそれらを横断的にポイント化する上位の資格です。現在あるGIS関係の資格や認定（名称は様々）をまずとられ、それらもポイント化（これらの関連資格のポイントに関しては、現在検討中です）してさらにステータスの高いGIS技術認定（150ポイント）に挑戦してください。

S I G からのお知らせ

「空間情報規格スタジオ初級編および中級編」

今秋に、空間情報規格スタジオ初級編（3日間）および中級編（2日間）を開催する予定です。詳しくは、9月上旬に空間IT分科会のホームページ（<http://www.s-it.org/>）に掲載しますのでご覧ください。

初級編では、難しいと誤解されがちな地理情報標準の基本的な考え方を3日間の集中的な講義・実習で体得できる内容を提供いたします。具体的な実習としては、受講者は自分が好きな絵地図を描き、その絵地図に対応する空間データを作成するための空間データ作成要求仕様書を、UMLとISO/TC211の国際標準に従った形式で作成していただきます。

中級編では、コンピュータを使った実習になっており、XMLの形式で、空間データのスキーマ設計および実データ作成を体得する講義・実習を行います。

一般的なセミナーでは、講師から受講者への一方向の講義がほとんどであるのに対して、スタジオでは、講師と受講者との間での双方向のやりとりを重要視し、作品制作実習・作品講評などの実践的内容を含む点が特徴と言えます。

空間IT分科会 代表 有川正俊（東大CSIS）

<http://www.s-it.org/>

地方事務所の紹介・活動予定

中部地方事務所

奥貫圭一

中部地方事務所は、現在、名古屋大学地理学教室におかれ

ています。地方事務局設立直後の2000年12月には、中部シンポジウム『中部を拓くGIS』を開催し、200名以上に及ぶ多数の方にご参加いただきました。その後は、2002年12月に国際シンポジウム『初等・中等教育におけるGISの可能性』を、さらには、2004年7月にワークショップ『市民のための環境GIS』を、それぞれ開催して参りました。本年も過去の実績を踏まえて有意義な活動を蓄積していきたいと考えております。中部地方会員の皆さまには益々のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。名古屋大学地理学教室 奥貫圭一
(上の記事は、会報委員会のミスにより、前号(第54号)で掲載もれとなったものです。)

学会後援行事等のお知らせ

【The 6th International Cooperative Seminar between KAGIS and GISA】

●韓国GIS (KAGIS) 論文発表大会のご案内

会 期：10月7日(金)14:00-18:00 (夜、懇親会/8日は韓国国内セッションのみ)

会 場：韓国 濟州島 濟州大校

連絡先：李 leeyj@krihs.re.kr (日本語対応可能)

81-380-0566 (直通電話)

朴 parkjh@krihs.re.kr 81-380-0563 (直通電話)

関係URL <http://www.kagis.or.kr/>

翻訳サイト <http://www.excite.co.jp/world/english/web/>

●国際会議のご案内

国際地理連合の地域会議が2006年7月3日から7日までオーストラリアのブリスベンで開催されます。この間、Commission on Modeling Geographical Systems (CMGS) のセッションでペーパーを発表されるかたを応募しております。

詳細は岡部篤行(atsu@uat.u-tokyo.ac.jp)にお問い合わせください。

●後援行事のご案内

「国土管理・国土防災における衛星データ利用の新たな展開」

主 催：(社)日本リモートセンシング学会 国土防災リモートセンシング研究会

会 期：平成17年11月2日(水) 13:00~17:00

場 所：(社)地盤工学会 地下大講堂 (JR山手線・巣鴨駅または都営地下鉄三田線 千石駅)

参加費：2,000円

(社)日本リモートセンシング学会国土防災リモートセンシング研究会では、国土情報基盤の整備を前提とした衛星データの積極的な活用方法の検討や建設・防災・地質分野の技術者に対する関連情報の発信とニーズの収集を主たる目的として、研究会活動を行ってきました。本ワークショップは、研究会の活動成果を広く公表するとともに、国土管理・国土防災分野におけるリモートセンシングの普及を目指すことを目的として開催するものです。多くの方々のご参加をお待ちしています。

参加ご希望の方は、下記宛に、メールかFAXにてお申し込み下さい。

連絡先：茨城大学工学部都市システム工学科 (桑原祐史)

E-mail : kuwahara@mx.ibaraki.ac.jp

FAX : 0294-38-5268

学会SIG連絡先一覧

- 自治体：大場 亨 (市川市道路管理課 Tel 047-334-1111 内線5564)
E-mail: BZH06512@nifty.ne.jp
- 空間IT：有川正俊 (東京大学空間情報科学センター Tel 04-7136-4305)
E-mail: arikawa@ccsis.u-tokyo.ac.jp
- ビジネス：高阪宏行 (日本大学 Tel 03-3304-2051)
E-mail: kohsaka@chsr.nihon-u.ac.jp
- 森林計画：伊藤達夫 (京都府立大学 Tel 075-703-5635)
E-mail: t_ito@kpu.ac.jp
- 防災GIS：寶 馨 (京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4125)
E-mail: takara@rcb.dpri.kyoto-u.ac.jp
- マルチメディアGIS：大沢 裕 (埼玉大学 Tel 048-858-3717)
E-mail: ohsawa@mmics.saitama-u.ac.jp
- モバイル・バーチャルGIS：東明佐久良 (大妻女子大学 Tel 042-339-0061)
E-mail: shinoaki@otsuma.ac.jp
- バイオリージョン：田中和博 (京都府立大学 Tel 075-703-5629)
E-mail: tanakazu@kpu.ac.jp
- 土地利用・地価：確井照子 (奈良大学 Tel 0742-43-9042)
E-mail: usuit@caibutsunara-u.ac.jp
- 医療福祉環境：佐藤 充 (株式会社パスコ Tel 03-3715-1048)
E-mail: Mitsuru_Satou@pasco.co.jp
- 時空間GIS：角本 繁 (独)防災科学技術研究所 Tel 044-329-1129)
E-mail: kaku@aa.mbn.or.jp
- 登記GIS：神前泰幸 (大阪府土地家屋調査士会 Tel 0724-32-5955)
E-mail: hk2000@dream.com
- 地図・空間表現：森田 喬 (法政大学 Tel 0423-87-6270)
E-mail: morita@khosei.ac.jp
- セキュリティ：川添博史 (特定非営利活動法人GIS総合研究所 Tel 06-6464-7077)
E-mail: kawazoe@gissoken.org
- 自律分散アーキテクチャ：藤田晴啓 (東洋大学 Tel 0276-82-9157)
E-mail: fujita-hi@toyonet.toyo.ac.jp
- 海洋データ：柴山信行 (株式会社武揚堂 Tel 03-3363-2239)
E-mail: nsiva@nifty.com

2005年8月末現在の個人会員1582名 賛助会員118社

(3口)(株)パスコ、(株)創建
 (2口)アイ・ピー・エムビジネスコンサルティングサービス(株)、NTT情報開発(株)
 (1口)(株)アイム、朝日航洋(株)、アジア航測(株)、荒木測量設計(株)、(株)アルプス社、伊藤忠テクノサイエンス(株)、(株)インフォマティクス、(株)ウインドインターネットワーク、(株)ウチダデータ、(株)エース、ESRIジャパン(株)、(有)NKG、(株)NTTデータ、NTT西日本(株)、(株)NTTネオメイト、(株)NTTネオメイト関西、愛媛県土地家屋調査士会、扇精光(株)、応用技術(株)、(財)大阪府都市工学情報センター、大阪土地家屋調査士会、(株)オービス総研、オートデスク(株)、(株)オオバ、(株)オープンGIS、officeあきしの、かごしまGIS・GPS普及推進研究会、(株)かんこう、(株)関西シビルコンサルタント、関東甲信越東海GIS技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、(株)きもと、九州GIS技術研究会、(株)京都インダストリアル、協同組合GISいばらき、近畿中部北陸GIS技術研究会、クボタシステム開発(株)、(株)こうそく、幸陽測量設計(株)、国際航業(株)、寿精版印刷(株)、(株)コプラン、(株)サンコム、GISコラボレーションフォーラム、GIS総合研究所、GIS総合研究所いばらき、(株)GIS関西、(株)J時空間研究所、(株)ジェック、(株)ジェビーエス、(株)ジオテクノ関西、清水建設(株)、(株)ジャスミンソフト、写測エンジニアリング(株)、上越GIS技術研究会、(株)昭文社、(株)セラテックテクノロジー、(株)ゼンリン、(株)総合システムサービス、(株)ソキア、大成建設(株)、(株)大設、大日本印刷(株)、(株)谷澤総合鑑定所、玉野総合コンサルタント(株)、中央復建コンサルタント(株)、中国GIS技術研究会、(株)ティージー情報ネットワーク、テクノ富貴(株)、(財)データベース振興センター、(株)テラ・マトリックス、電源開発(株)、東京ガス(株)、東武計画(株)、東北GIS技術研究会、(株)ドーン、(株)トロピカルテクノセンター、内外エンジニアリング(株)、長野県GIS普及促進協議会、(株)日建設計、日本エヌ・ユー・エス(株)、日本空間情報技術(株)、日本GPSソリューションズ(株)、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、日本テクノ(株)、(財)日本デジタル道路地図協会、日本都市整備(株)、パシフィック・コンサルタント(株)、(株)日立製作所中央研究所、(株)ビーブルメディア、復建調査設計(株)、古河インフォメーション・テクノロジー(株)、(株)ベシックエンジニアリング、(株)ベントレー・システムズ、北海道GIS技術研究会、北海道GIS・GPS普及推進委員会、マゼランシステムズジャパン(株)、(株)マップクエスト、松本測量設計(株)、三井造船システム技研(株)、(株)三菱総合研究所、三菱電機(株)、(株)ワールド
 自治体会員：(1口)大阪府高槻市役所、大阪府豊中市役所、経済産業省特許庁、独立行政法人製品評価技術基盤機構、総務省統計局統計研修所、長野県環境保全研究所、兵庫県尼崎市役所、福井県福井市役所、福岡県直方市

■編集後記

本号には第14回研究発表大会プログラムが掲載されています。今回の研究発表大会には128編の講演発表と14編のポスター発表が寄せられ、10月13日～14日の2日間、大阪工業大学(大宮キャンパス)で開催されます。14回目に初めて東京以外での開催となります。大会の規模も大きく、内容も多様性を増しています。関西の方はもとより、全国から多くの会員の皆さんが参加され、活気ある大会となることを期待しています。(文責：荒田)



地方事務局の連絡先一覧

2004年度～2006年度の地方事務局は以下のとおりです。

<北海道地方事務局>

事務局長：北海道大学 山村悦夫
 E-mail: eyamamura@hotmail.com
 連絡先：藤原達也
 (北海道GIS・GPS普及推進研究会)
 Tel: 011-787-7650
 Fax: 011-787-7655
 E-mail: fuji@kirari.com

<東北地方事務局>

事務局長：東北大学 増田 聡
 Tel&Fax: 022-217-6316
 E-mail: masuda@econ.tohoku.ac.jp

<中部地方事務局>

事務局長：名古屋大学 奥貫圭一
 Tel: 052-789-2233 ext.2236
 Fax: 052-789-2272
 E-mail: nuki@lit.nagoya-u.ac.jp

<関西地方事務局>

事務局長：大阪工業大学 吉川 眞
 Tel: 06-6954-4201
 Fax: 06-6957-2131
 E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp

<中国地方事務局>

事務局長：広島工業大学 岩井 哲
 Tel: 082-921-3121 ext.415
 Fax: 082-923-7083
 E-mail: iwai@cc.it-hiroshima.ac.jp

<四国地方事務局>

事務局長：高知工科大学 高木方隆
 Tel: 0887-57-2409
 Fax: 0887-57-2420
 E-mail: takagi.masataka@kochi-tech.ac.jp

<九州地方事務局>

事務局長：福岡大学 斎藤 参郎
 E-mail: saito@jsat.fukuoka-u.ac.jp
 連絡先：伊規須耕一((株)ゼンリン)
 Tel: 093-884-0885
 Fax: 093-884-0701
 E-mail: gisa@zenrin.co.jp

<沖縄地方事務局>

事務局長：琉球大学 宮城 隼夫
 E-mail: miyagi@ie.u-ryukyuu.ac.jp
 連絡先：田谷 明
 (タヤアンドサンズ アソシエーツ インク)
 Tel: 098-887-5333
 Fax: 098-887-5333
 E-mail: taya@mocha.ocn.ne.jp

地理情報システム学会ニューズレター

第55号 ●発行日 2005年9月10日

■発行

地理情報システム学会事務局

〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤 5322
 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス Z館3階
 福井研究室
 TEL&FAX: 0466-47-0282
 E-mail: gisaofc@sfc.keio.ac.jp
 URL: http://www.soc.nii.ac.jp/gisa2/

 * 年会費のお支払いには、便利な *
 * 口座振替をご利用下さい。 *
 * * * * *
 * お申し込み・お問い合わせは *
 * * * * *
 * 上記事務局までお願い致します。 *
 * * * * *